

岐阜1/3

No	ご意見・ご感想
1	1、生体でBSEになっているか判明するまでは全頭検査をするべき。2、1989年に英国で発生して10年の余も肉骨粉の輸入していたのは国の責任でありそのツケを農家に押し付けているのはケシカラン。
2	☆我々の税金をつかって全国を回っておられたと聞いたが、裏に見えるものを痛烈に感じた。誰のための行政なのかかわからない。厚生省の人も農水省の人も、一連の説明を流したら、自分の役割は終わりという感覚がカイマ見える講演であった。
3	3 プリオン及びBSE、原因の究明にもっと努力してほしい。米国及び発生国からの輸入は慎重にしてほしい。
4	4 全頭検査は、あと4～5年は継続すべし。
5	私見としては、20ヶ月令とかの年令が担保されれば、全頭検査でなくてもよいとは思いますが、欧米のグローバルスタンダードを、本部へ押し付けられてはいけません。O-157発生時、対米輸出と場を、本部に設置させられた件の逆が、現状のBSE対策に関することであり、常に欧米のスタンダードが押し付けられている。あらゆる科学的根拠と、国民感情も考慮に入れ対策をとられたい。ただ、若年層では必ずしも、全頭検査済の肉でなくても抵抗なく受け入れている。おそらく「吉野家」で牛丼が未検査の米国産牛で再開されても、充分客は入ると思われる。国産牛肉と未検査輸入牛の区分けが担保されるならば、消費者に選択させるのも一案かも知れない。(後で薬害のような訴訟にならないなら。)年寄の開業Vetは恥ずかしいな。
6	BSEについて、詳しい情報を得る場が少ないと感じます。今回の会についても、どれだけ周知されているか…。「食品安全」の冊子についても、どこで手に入るのか。自分自身はネットetcで情報を集められるが、様々な人が情報にアクセスできる環境を、できるだけ整えてほしい。今回の場で説明されたことと資料をつきあわせて、分からないことがあったらどうしたらいいのでしょうか？
7	7 今後も開催してより多くの人々に情報の公開と意見交換がなされることを望む。
8	8 何か全部を発表しているのではなく、何となく細部については隠している感じがしてならないと感じました。
9	9 20ヶ月令以前の牛肉を安全とする根拠がきわめて不明確。もう少し科学的説明を求める。
10	・現状ではピッシングによる死亡事故の方が、ヤコブ病発生率より、はるかに多いのではないかと。ピッシング中止していると、畜場の大半が作業上危険といっていると、畜場のハード整備に国の助成がなければ中止出来ない。過去の行政対応を指摘するより前向きな対策を(具体的な)。
11	100%安全というのは非常に難しいと思うが、それくらい言い切ってほしかった。まだわからない部分が多いので全頭検査必要。妥協はしてほしくない。発症の原因がわかっているのだったら、かくさないで国民に知らせるべきだと思います(消費者)。県内たくさんの方の会場でやってほしいと思います。
12	会場発言でもありましたように、私たちは安心安全で子ども達の、大好きなお肉が提供させるために、対策がきちんと出来ていることを望んでいます。そのためにもっともっとわかりやすく、説明、理解出来る場の設置を願っています。生産者も消費者も不安が増大するこの頃の中で、私達が身近に広く知る場がほしいものです。
13	⑥の解答について、強くそう思う、ややそう思う、この表現はおかしい。そう思う、あまり思わない、が適当と思われる。説明の音がわかりにくい。聞きとりにくい。議事録の公開が言われているが、一部の人しかわからない。もう少し情報の平等化をしてほしい。
14	14 役所的組織的に決めていくことはいいのですが、実際と畜場での全国的な統一が早急に必要です。現場とdesk workとのギャップをどううめているのかが一番知りたいところです。〇〇さんの説明は、よくわかりました。
15	15 BSE検査の方法がよくわかりました。〇〇さんのお話の説明はわかりやすかったです。しかし全頭検査は続けていくべきだと思います。
16	16 意見交換時、一部の人間と発言が偏重しすぎ。
17	17 ・日本の人々が食品に対し10年後、20年後にも自信を持てる検査体制と輸入規制・体制をつくり上げて下さい。・たくさんの方の思いがわかりました。
18	18 アメリカの意見に押されて、20ヶ月令以下の牛の検査をなくすのではないかと、疑問を感じる。

岐阜2/3

No	ご意見・ご感想
19	SRMの除去については、さらに論議を深める必要があると思います。
20	・資料は分かりやすい語句を使用した方が、国民に対して親切だと思う。難しい言葉を使用することによって、入口がせばまり国民が無関心になる事の方が怖いことだと思う。・質問者(獣医)の質問もわかりにくかった。わかりにくい質問に対しての返答なので答えも自ずとわかりにくくなる。質問者の意識改革も必要ではないか。本当の国民の声がかき消されている。
21	厚労省より農水省の方が説明が分かりやすかった。時間がおそい。せまい。
22	・意見交換の時間をもう少し長くとるべきではないですか？質問、意見用紙の役目がはたされていないと思います。一般の消費者の声が一番大切なのではないですか？
23	食品には、リスクが多かれ少なかれあることは理解はしているが、「できる限り、安心して食べたい！」と思っている。安心して食べられるためのできる限りの対策をとってくれるのが、委員会の義務だと思う。リスクに対する判断をすることで、安全性を守れるとは思えません。
24	認識の差を大きく感じました。
25	・専門用語が多く、〇〇さんの話はわからない。・「指導します」とのことが多いので、発言者の方から言われるように、「〇〇までに指導します」ということを出す。消費者がわかるようにしてほしい。
26	早口の説明でしたので、少し理解できない箇所があった。輸入牛は全頭検査とトリサビリティーをお願いします。出来なければ輸入牛については、消費者に対して保障は出来ないと発言すれば、ボイコットにつながり、アメリカも対応して行くのではないのでしょうか？
27	アメリカ牛の輸入は、全頭検査すべきだと思います。安易な考えは、将来の子供たちに何を残せるか考えてほしい。オーストラリアの話が何も出てこなかったのですが、どういう検査になっているのか知りたかった。もちろん日本国内は全頭検査を続けてほしい！！
28	同一質問者に何回も発言させたのは司会が悪い。応答に対して1回だけの質問までに。色々な人の意見を聞け、米国牛肉はもう食べないことがよい。御努力よく感じました。しかし、検査を早期に終わるようにならないか(お金がかかるから)。県、地方単位に検査止められないか。
29	食品についての安全が100%でないことがよくわかりました。けれども限りなく努力されていることに感謝しています。日本での食品は、日本の法や規則に合致しないものは外国の力に負けてはならないと思います。牛は草食動物です。人間は人間を喰べますか？
30	短い回答で、わかりやすく話してほしい。
31	獣医などの意見は、こういった意見交換会ではなく、別で意見を言う会をもうけてもらって、県民の意見をもっと聞いてもらうように考えてほしい。
32	安心感を高めることにつながったとは思えない。
33	講演・配布資料共にわかりやすいものでしたが、BSEとvCJDとの関係などについて、「なにも知らない」白紙状態の消費者にはテンポが速いと感じられたかも知れない。食品行政側では飼料対策によるBSE発生防止の取り組み(農水側)の説明はあまりないので、参考になった。
34	アメリカ産牛肉の輸入のために結論を急いですすめようとしていると感られてならない。食の安全・安心のために万全の対策をとるよう努力をもっとしてほしい。
35	私は、専門的な知識もありません弱い立場の者です。口にする食品については、とにかく安全な物であることをお願いします。
36	・時間、会場等悪い。・質問に適確に答えられていない。
37	皆さんから多くの意見、質問をしっかりと把握し、今後に充分生かして頂きたい。ただの“実績作り”だけで終わらせないで下さい。
38	現状や経過、議論内容、論点をもう少し具体的に説明して欲しかった。

岐阜3/3

No	ご意見・ご感想
39	やはり、1人2分厳守。ルールは守ってほしい。また、回答も明確に、分からないことは分からないとか答えてほしい。
40	やはり、こういう場に来てみてわかるということがあるという実感があつた。そういう意味ではこういう機会を多く持ってほしいと思った(消費者の立場として)。
41	安全委員会への不信感が高まった。国民に安心・安全な食糧を供給する国の責任について、もっと委員会からも意見を言ってほしい。帰って議事録を検索して、もっと勉強したい。公開性を高めてほしい。

福井1/1

No.	ご意見・ご感想
1	大変良くわかった講演であり、食品安全について細かく検査検討していただいていることに感謝いたします。いろいろ、行政面では消費者のためにご苦勞なさってことは理解できます。しかし、良心的でない人の介在によっていろいろ迷わされることがあり残念なことです。何を信じたらよいかという不安も多くあることは事実です。今後共、御苦勞様ですが徹底した指導をよろしくおねがいいたします。
2	20月以下の検査を止めると判断する事が適当とするならば、(私は全頭検査に賛成)「希望する自治体には助成する」事は、理解できない。無駄な税金は出すべきではない。
3	リスク評価について、他のリスクとの比較で、消費者に理解を求めた方が良いのでは。消費者は、可能なら重装備で対応した方が良いと思うはず。直接、価格にはねかえれば話は別でしょうけど。
4	会議の規模が小さいのでは？多くの国民に伝えたいことが伝わっていないのではと思いました。
5	食品の安全に対して、単一部所で扱うのではなく、役割分担をしながら、行なわれている事を再認識でき、良かった。
6	米国の輸入牛肉について、日本の消費者は不安。私たちも輸入再会されても食べたくない。和牛の飼育数を増やし比較的安く市場に廻る様にしてほしい。稲わらとか牧草とかの飼料で育ったものならたべたい。(年令的)食事量少なくなっているの、おいしいもの、安全なものを望みます。トレイサビリティの品の市場へ早く現われるのを待ちたい。青少年者の食卓に安心を与えられる様検査や病牛の出廻らない様きびしく監視して下さい。
7	今日の話を書いてちょっと不信感をもちました。その話はちょっと曖昧な所がありました。
8	・飼料規制やSRM除去の徹底をお願いします。→「輸入牛肉の買上げで不正が行われた」のごとく、規制や指導が適正に行われるのか！
9	20ヶ月以下の牛肉をアメリカより輸入する為の説明会の様に聞取られた。20ヶ月以下は異常プリオンを発見できないとあるが20ヶ月以下の食肉を食する事により長年経過する事により蓄積されるのでは。ホルスタインのみの発生である事から検査方法を考えてはどうか。
10	BSE自体がまだ不明な点が多いと理解しました。大変な作業だと思いますが、がんばって下さい。
11	BSEのことが、まとまった型式で知ることができ、とても役に立ちました。国の姿勢が良く分かりました。消費者が安心して食品作りをお願いします。

金沢1/2

No.	ご意見・ご感想
1	意見交換の時間が短いので長くして欲しい。
2	全国で万遍なく開催することは大変でしょうが、いのちに関わる大切なことです。消費者の最も関心の高い事でもあるので必要なものと考えます。
3	20ヶ月齢以下の検査をやめるなら、SRMの除去を徹底すべし。特にピッシングの禁止(EUなどではやっていないはず)、背割前のセキズイ除去は早急に義務化してほしい。
4	・20ヶ月未満の牛は安全とは云うが、21ヶ月半が陽性で発見されている。・全頭検査を行い検査費用を商品に付加すべきではないか。※17年度33億と聞く。税は公平・公正に活用を。
5	BSE対策についての関心がさらに高まりました。
6	アメリカの圧力に押されて十分に検討することなく輸入を再開しないでほしい。アメリカの牛でスクーリングをしたらどれくらいBSEが発見されるのかと思う。
7	本日のリスクコミュニケーションでBSEに対する理解が一層深まりました。今後SRMの除去の徹底、法的措置等の検討をお願いします。消費者の間での不安感もあると思います。
8	リスク等で出された意見(国民の声)が、国の施策などにどうつながっていくのかが、よく見えない。外圧と政治判断で動いているという感があります。テレビ等で何度も流す(リスクの内容)または生でTVで流すというようなことも検討して下さい。本日は御苦労様でした。
9	講演に際し同様のことを各演者が述べており、内容を精査し、ダブリがないようにお願いしたい。これまでのことも重要であるが、これを踏まえてこれからのことを科学的に説明してもらいたかった。
10	開催案内文書が開催日直前に来た。→文書での申し込みは時間的に不可であった。
11	BSE検査について。・生前検査技術を確認し、フィールドで検査(食肉センター対応ではあまりにも流通市場に近過ぎる)できるようになれば、一般の人は安全性の理解も深めると思われる。・科学的検査技術が確立されているのに、安心・安全への啓蒙に力が注がれ過ぎではないか。科学的根拠を無視されているようで、科学技術が疑われ残念です。
12	午前中の開催では参加の意思があっても困難な場合がある。午後の開催をして下さい。消費者が参加しやすい形態にしてほしい。
13	意見交換会レベルでは資料の内容は問題ないが、厚労省や農水省からEメール配信サービス(食の安全、安心トピックス等)の表現文言はもっと平易でわかりやすくして欲しい。
14	見直しで、20ヶ月齢以下が確認できないので検査から除外するとのことか。現在食肉の安全・安心は、全頭検査とSRMで消費者の信頼を得ているが、見直し理由として、消費者に受け入れられる、安全・安心の担保を示すべきでないか。
15	日本の牛肉はやわらかくておいしい。世界一だと思っていた。今までヨーロッパ、アメリカへ研修に出かけており、牛肉を食べるたびに誇りを感じていた。しかし発生以来びたりと食べることをやめた。1年か2年に1度松坂牛を食べる程度になっている。ヒトにとって牛肉は必要なものであると思う。
16	当日提出された質問やその解答についてホームページ等で紹介して示していただければよいと思う(会場毎に)。
17	これからもこういう会を開いて行って欲しいです。
18	・ヨーロッパと日本人との遺伝子タイプの違いが話されましたが、もともと農耕民族の遺伝子をもつ日本人の大切な歴史が生きていると思いました。政府関係当局の皆様方の御努力のもとに「世界にほこる検査体制を、外国産牛の輸入肉の規制をするため堅持していけるようがんばってほしい」と思いました。消費者としての国民は、輸入再開に際し87%の国民が全頭検査を求めていることも是非大切にして下さい。
19	・演者3人で話の内容を検討すべきである。・意見の反映を！！

金沢2/2

No.	ご意見・ご感想
20	<p>リスク評価、リスク管理によって極めて低い感染状況であることがわかりました。ただ、原因が完全に解明されていない中で、100%異常プリオンの発生と根絶が出来ないとすると、必要な対策を進める必要はありますが、コストを考えると、もう一方でリスク評価として摂取許容量としての安全性について国民(消費者)にも認識してもらえるような基準づくりやPRも効果的でないかと思います(風評防止にもなると思います)。消費者が、自らの責任で選ぶことが出来る知識を持つための情報を提供すべきではないでしょうか。</p>
21	<p>前年と講演、説明、内容、資料がダブルところがある。一人で全部説明された方が良いのではないか。意見交換の時間が短い。</p>
22	<p>アメリカでBSE感染牛が発見され、日本への牛肉輸出がストップした際に、吉野家をはじめとする牛丼チェーンに大勢の人が殺到したが、ある意味、食品に関するリスクコミュニケーションが足りないのだと思う。</p>
23	<p>引き続きSRMの除去に関する徹底を希望します。国民の意識向上(理解)が大切。</p>
24	<p>最後の意見交換で、検査(20月齢以下)しないけれどもSRM除去が行われるということがわかりました。これまでは検査=SRM除去だと誤解していました。しかしながら、この間自治体によっては全頭検査継続を掲げ、また国が補助金をだすというのは、国の政策としては矛盾を感じます。補助金は税金です。「安心(消費者の求める)」を得るには情報提供が重要だと思います。もう少し、戦略的な情報提供をお願いします。</p>

富山1/2

No	ご意見・ご感想
1	丁度今朝(12/16)6時のニュース(NHK)で、アメリカの検査態勢が報道され、何故日本の様に全頭検査実施されないのか？
2	行政の指導、対策はわかったが、事業者が完全に実行されているか。飼料業者の監視指導に不信感が残る。トレーサビリティの徹底をはかること。
3	リスクコミュニケーション活動に対しての熱意は充分だったが、食品安全委員会の持つ機能、リスク評価とリスクコミュニケーションの二つでは、最終的には食の安全に対する最終責任はとれるのだろうか？リスク管理が最も大切なのであるが、これが厚労省と農水省に分けられているのでは、本当の意味でどうして責任体制がとれるのか、よくわからない。
4	検査方法、飼料の安全対策がよくわかった。
5	・米国牛肉輸入を早期に再開すべきである(消費者に食べるかどうか委ねたらどうか)。・安全と安心を混同させ国民に不安を煽っているのではないかと…農水省等。・情報公開をきちっとする。危険部位(SRM)除去、国際基準に基づいた検査のみが良い。
6	BSEの感染メカニズムの解明、BSEの原因究明、調査継続。
7	BSEの発生に対し、誰の責任でもないのでしょうか？
8	・日本におけるBSE対策は完璧だと思った。このまま進めて欲しいと思います。・現在、アメリカからの輸入再開の圧力がありますが(完全に安全とわかればいいのですが)日本の国民の命を守るためにも、今日説明のあった方法を買って欲しいと思います。・講演を聞いて、安全性に対する認識を深めることができました。ありがとうございました。
9	※開催方法③にしました理由。私たち主婦にとって、3時の開催時間は大変出にくいことです。※わかりやすかった…言っていることはわかりますが、納得ではありません。アメリカ牛の輸入に関してはもっと不安材料を取り除くものがなければ、認められない。
10	・開催終了時間が遅い。真に消費者の意見を聞くつもりなら、16:30には終了できる時間設定すべき。17:30終了では、家事に影響を及ぼすと思われる。・事前質問・回答に要する時間が長い。
11	一般消費者の方には、講演内容が専門用語が多く理解が難しいと思う。
12	初めて参加しましたが、一般的に開催時間ですが、少し遅いと思いました。夕暮れが早くなっておりまして、遠方へ帰る者もおりますので、5時前に終了して欲しかった。
13	科学的に発生メカニズム、原因等不明で、これまでの検査の中で20ヶ月齢未満の牛にBSEがいなかったという事実だけでは、全頭検査をやめるといふことには不安があります。今後、検査精度を上げることや科学的な根拠がわかることを早く望みます。
14	この会をやるのはアメリカの輸入再開のためで、月齢がキチッと分るまで輸入は止めて欲しい。
15	止むを得ないのかも知れませんが、17:30までというのは一般の方(主婦)にとっては少し無理。4時頃お帰りになる方が何人かおられた。
16	・専門家だけでなく、国民の感情・意見も安全委員会での議論に反映させていただきたい。・国の責任で全頭検査をしないで、県で自主的にするなら補助金を出すというのは、国が国民の安全を守るという責任の放棄になるのではないかと。国民の不安、汚染の可能性がある以上、国の責任で継続すべきである(原因の追求ももっとなされるべき)。・20ヶ月齢以下についても、現検査方法では検出できないだけであって、今後の検査方法の開発で発見できる可能性があると思われる以上、全頭検査を継続すべきであるし、検出方法の開発研究に力を入れるべきである。・トレーサビリティについては、国内のものだけでなく、輸入肉についても(輸入肉ならなおさら)実行されなければならない。そうでなければ、消費者、国内の生産者は納得しないのではないかと。・リスクが100%ないのではなく、あって当然という風に聞こえるが…100%目指して努力する姿勢が大事ではないか。それが国民に対する責任ではないか。
17	国による全頭検査は継続して下さい。20月齢に関しては納得いかない。
18	配布資料が多く、講演の時間がやや長いように感じました。
19	資料説明に時間を割きすぎではないでしょうか？意見を交換することが大切なので、こちらに時間をかけて欲しい。
20	リスクコミュニケーションに参加してとてもよかった。不安だった事が理解出来た。終了時間は守ってほしい。乗物の都合あり。

富山2/2

No	ご意見・ご感想
21	BSEについては安全だと思った。しかし、輸入の現場においてしっかりした監視と指導をお願いしたい。監視官と指導員の養成、人員を増やして欲しい。今日はありがとうございました。お正月ではお雑煮を始め、スキヤキを大いに食べたいと思っています。
22	国内の牛については安全性は確認できるが、アメリカ牛については情報から見ると不安が高まっている。消費者として考えた場合、国民に納得させる情報をキチンと流して欲しい。
23	全頭検査が各行政で行われる様ですが、実際の売り場では「検査しているもの」「ないもの」など入り混じり、混乱していくことが予想されます。全頭検査のダブルスタンダードはやめていただきたい。
24	時間的にこの時期15:00～では出席しづらい。また、車の停めやすい会場にして欲しい。

高知1/3

No.	ご意見・ご感想
1	今回は本当に良くわかりました。21ヵ月以上の検査、SRMの除去、肉骨粉の禁止で安全は保たれると思えました。
2	検査技術や感染などについても確立されたものがない中で、“たぶん大丈夫だろう”という憶測で全頭検査を20ヶ月以上としてしまうには不安がある。予防原則に立って、規制など行うべきです。これから発生が増えないという保証はないのですから。BSEは潜伏期間が長いということです。
3	資料については、現状報告などがわかり良かったと思いますが、これから具体的にどの様にBSE問題に取り組んでいくかという本質の部分をもっと話していただきたいかったです。たくさん税金を投入しての全頭検査が本当に必要なのか、もっと他に目を向けるべきことがあるのではいかと思います。国内の有機畜産をすすめていく対策は、どこまで進んでいるのでしょうか？アメリカ牛の輸入再開の問題が多くの人に関心事ではありますが、現政権が続けばそうなるのは当然だと思います。アメリカ牛がどの様に飼育され、日本に食肉として輸入されているのか本当のことを知っていれば食べないことも選択できますが、知らない人は国の政策として受け入れてしまう恐さがあります。事実をもっと公表して下さい。またこれからはCJD患者の医療体制強化ということも大事なことだと思います。
4	これまでBSEに関連して虚偽の報告や申請があった。今後もないとは断定できないので、可能ならば全頭検査を希望する。輸入牛について全頭検査をゆるめてもよいが、偽装表示が心配である。本来は消費者に選択を任ずるのが本来であるが、信頼が確立されねばならない。
5	検査技術の未確立。→これを確立しなければならない。感染原因→飼料以外に考えられることを情報開示できないか。
6	食品安全委員会は独立機関として、リスク評価を厳しくし、リスク管理をする厚労省や農水省に対して必要な勧告をしてほしい。政治的に利用されてはいけない！
7	1. 飼料の牛製品禁止。2. 21ヵ月齢以上の牛にBSE発生。3. 20ヶ月齢以内の牛では検査してもわからない。→①20ヶ月齢以内は検査から除くためのPRのように思えてならなかった。②米国製の輸入解禁のPRも含まれているようにも思えてならなかったのは、ひがみか？③新たな検査試薬の開発をしてみてもどうか(20ヶ月齢以内の牛も検査できるような方法)。
8	BSEの検査対応については、20ヶ月以下は不能ということですが、不能であれば、やはり、検査技術の向上が期待できるまで全頭検査は必要ではないかと思えます。消費者はまず、安心が第一ですし、安全の前に安心を確保する事が行政の義務だと思います。輸入牛についても、非常に不安であります(日本との飼育状況が異なる)。
9	感染ルートの解明について現段階では肉骨粉として飼料規制で対策がとられているが、それ以外は考えられないのかどうか、まだ不安が残る。
10	今後、食品に関して発表したり変わって取り組みの事などお教えて頂ければと思っています。
11	どの程度出席されているか不明ですが、主に生産者若しくは一般の消費者の地方意見(少数)を参考にさせていただきたいと思う。専門用語やヨコ文字で言われても、理解しにくい。意見交換会でもそうだが、素人にはわからない。
12	今後も科学的根拠の基に判断していただきたい。
13	大変、参考になった。けれども日本の対策は安全であることを強調したように感じた。消費者にとっては不十分であると思う。
14	・生産段階での費用を国庫からの負担(BSE対策、安心、安全にかかわる費用)・国によっての対応は違って当然だと思うが、日本国内で流通されるものの基準が原産国によって違いがでるのはおかしいと思う。
15	国産牛肉の安全性についてはよくわかった。しかし、問題は、輸入される牛肉の方が心配だ。「特定危険部位の除去」は、絶対に実施してほしいと思う。大変参考になりました。ありがとうございました。
16	今後、米国等から輸入牛肉が入って来る事となるが検査体制、SRM除去等についても、国内と輸入についても差をもうけず、国民の納得する制度にする必要あり。消費段階の混乱、生産段階の混乱も予想される。責任の所在も明らかにするべき。話が一般の人にはわかりにくかったのではないか。
17	・平日の昼間の開催では消費者は参加しづらい。休日か夜間の開催をするべき。・これでは、国産牛肉はもう食べられない。畜産農家のことも考えてあげてほしい。
18	開催時期が悪かった。

高知2/3

No.	ご意見・ご感想
19	現在の全頭検査体制は続けるべきである。現在の化学的技術では20ヶ月以下の感染牛が検出できないからといって、せっかく牛肉ばなれが安心できる検査している事によって、牛肉を食べるようになってきた国民感情とは、かけ離れており理解できない。今、検出できないのであれば早急に検出できる技術を高めるべきである。また、外国で危険性のある牛肉の輸入には反対である。生産履歴や検査済み牛しか輸入すべきではない。輸入がまず、ありきの姿勢は認められない。
20	20ヶ月以下の感染牛を現在の検査で発見する事が困難であるから検査からはずすことは反対である。検査技術の確立。
21	安心とは？安全とは？リスクとは？を国中に浸透させるのは大変とは思いますが、これからも頑張ってください。微力ではありますが自分で出来る事があれば実行したいと思います。今日はありがとうございました。
22	他の国と異なり全頭検査ということで安心していましたが、今日参加する事により、理解する事はできても、今までも、発症から6ヶ月前の牛でないと正確な結果が出せづらいということを知り、とても不安になりました。安心は信頼から確立されるものであれば、ぜひ、今以上に感度のある検査の確立した上で検査対象の検討をお願いいたします。
23	もっと大きな会場でやったほうがよいのでは？
24	・開催の広報が不十分。・週休日、祝日開催や夕方の時間帯等。
25	20ヶ月齢以下の検査は必要ないと思います。
26	少しでもリスクがあれば(考えられれば)取り組んでほしい。米国に従う等はあるもののほか、日本の食を守るためキチント、取り組んでほしい。
27	・アメリカの牛輸出再開のためのBSE対策見直しではないか！！・たまたま、日本で21・23ヶ月の牛BSE感染牛が発見されたが、20ヶ月以下のBSE感染牛が「いなくて」発見されないだけではないのか！1ヶ月の違いでそれほど蓄積に差があると思われない。
28	リスク分析・リスク評価については、食の安全、安心を求めていくために大切な事である。このことを消費者にいかに分かり易く伝えて(公表して)いくかが重要でないかと思う(マスコミの十分な理解等)。
29	今回の意見交換会は何のための目的なのか。何か、アメリカの輸入牛問題がどうしても見え隠れする(我々もどうしても先入観がある)。西村さんの言う所はよくわかる。
30	開催時期として、12月の末についてはいかがなものかと思いました。牛肉小売店等流通段階では、忙しい時期なので、広く意見を聞く意味からすると難しい。
31	本会の趣旨が関係機関向けのものでしたら、納得できますが、主婦等一般消費者向けとは思えないものでした。国での全頭検査の実施等、安全な牛肉を消費者へ供給して頂きたく、更なる善処方お願いします。
32	・〇〇氏の回答で英国でもできないものに本国では難しい旨はおかしいのでは？発生例が少ない上に飼育方の違うので徹底に調べやすいのでは？・安心と安全の違いに気付かせられました→良かった。・パネラー(=講師)については、所属、氏名をプリント配布して下さればより良かったです。・司会はとても良かったです。
33	高知でも開催してもらえた事、感謝いたします(大都市ばかりでやって諮問されたことが実施されるのかと思ってました)。普通の消費者の方も参加しやすい方法を検討してもらえたら、申し込みがあって連絡がきて、少しめんどくさい。
34	トレーサビリティ制度には反対です。有機JAS認定制度と同様に農家の負担を増大させるだけで、良心的に安全な食品を供給している人々は泣いています。むしろ、国としてすべきは、地産地消、地域単位での食品供給ルートの確立支援ではないでしょうか。
35	質問時間をもっともってほしかった。
36	時間が短いと感じました。説明が急いでいたように思います。
37	意見交換会等の実施回数、場所を増やしてほしい。
38	BSEの説明だけでなく、「RISK」という概念について他の例も参考にしながら分かり易く説明する事が大切だと思います(一般市民は専門的、科学的知見の説明だけでは理解できない)。

高知3/3

No.	ご意見・ご感想
39	なぜ、見直すのか。現状でよいのでは。アメリカ肉輸入再開のための環境作りと言わざるをえない。
40	20ヶ月以下の牛についても検査してほしいというのが、国民の総意ではないかと思えます。

高松1/1

No	ご意見・ご感想
1	司会者の話が長すぎる。
2	Q5:リスク牛以外で日本国内での20ヶ月以下のと畜牛は、全体の何%だったのですか。Q7:20ヶ月以下の牛についてはBSE検査をしない方向へ動いている様ですが(アメリカの圧力では?)少なくとも日本国内では全頭検査をしてほしい。
3	「100%安全な食品はない」ということからすれば、20月齢以下でも感染している可能性はあるし、プリオンが1/500~1/1000よりも多い可能性もあると思います。リスクは低いかもしれませんが、安全だということではないということだと思います。なかなか安心できないですね。
4	専門的な言葉が出ているので、知識のある人ならともかくその他はわかりにくいと思う。
5	場所について何階で開催するか不明。2階か5階か。
6	食品の安全の視点が、ややもすると政策部署の思惑の中で進められる傾向があるので、食品安全委員会は「安全を評価する独立した機関」として、科学的根拠に基づいて責任ある立場を貫いていただきたい。
7	少なくともUS牛の早期輸入再開の条件づくりの為にBSE対策でなく、長い目で見て国民の食に対する“安心・安全”の意識が守られる様に、じっくりと時間をかけて対策を積み上げていって欲しい。
8	専門家や委員会の研究成果をより簡単に、よりわかり易い手段で、より早く、一般に公開開示しなければつたわらないまま、偏見も含めて固まりそうな気がする。専門家より一般消費者に伝えることが大切。その方法が稚拙な感じがする。殊に、飼料について研究されたのが判ってよかったです。今まで何度も飼料の件を早くから申し立てて来ましたが、あまり相手にされなかった感じがして残念でしたが、今回少し安心することが出来ました。
9	一般消費者として、国内に流通する前の対策が資料通りに行われているのか、もっと詳しく知りたいと思います。
10	開催時期について、流通業者のトレーサビリティが12月1日施行となり、年末近くの12/21では時期が悪かったのではないか。せめて11月中に。
11	とても良い説明でした。もっと世間に対して広く聞いてもらえれば、もっと良いと思います。
12	・3省が行わず、統一して行った方が良いのでは。・全頭検査は行うべきだと思います(今日の説明では分からない)。・なぜ輸入再開を急ぐのか?アメリカ等へは和牛の輸入はまだ解禁になっていないのでは。・市場に回るのは、20ヶ月以上の検査の出来ることにしてほしい。
13	開催時期をお考え下さい。12月の末は出席できにくい。
14	・日米BSE協議における「特定危険部位の除去と20ヶ月齢以下」の認識の共有がなされたが、アメリカの牛トレはどうなっているか?(大丈夫か?)。・「20ヶ月齢以下の検査不安」に対し、経過措置として20ヶ月以下検査の費用を国が負担するのはいかがなものか?
15	人間が生活する上において「食」というのは必要不可欠なものであるが、なぜ牛肉だけについてこれだけの時間をかけて議論されているのか。いろいろな食材について行なってほしい。
16	米国の飼料管理されているのですか。SRM除去も全頭なされているのでしょうか。国民にもっと意見交換をしてほしいです。
17	これからもより一層の食品のリスク管理をお願いします。
18	開催時期を年末ではなくもう少し早い時期か、1月中下旬にしたほうが、食品関連事業者などの参加が増えたのではないのでしょうか。
19	国民に対して広くBSE対策について訴えかけを行うのであれば、もっと広く一般の人々にPRして、参加範囲を広げるべきである。また、講師の中に医師等の専門家に参加してもらった方が良い。
20	資料はパソコン画面ですが、説明と順番が違っており、資料としては簡単ですが、むずかしかったのでは…。